

## 政策課題研究 6

### 水草管理による生態系再生に向けた研究

大量に繁茂する南湖の水草（沈水植物）の適正管理に向けて、湖底泥を中心とした南湖の物質収支をモデルなどにより明らかにし、底泥中の栄養塩量から水草生育ポテンシャルを予測します。また生物群集と環境要因の関係解析などにより、これまでの水草刈取り・除去事業が生物や生態系に与えた影響を評価します。

#### <サブテーマ>

- ・底泥栄養塩から見た長期的な水草の生育の予測
- ・水草除去による生態系への影響の検討と生物群集から見た水草除去効果の評価

#### 【現状における課題】

##### 南湖における水草の大量繁茂

- 周辺住民への悪臭被害
- 漁業操業障害
- 航行障害
- 漁獲量の減少
- 景観悪化 etc...



##### 対策事業の実施 表層刈取り・根こそぎ除去



#### <課題>

- 除去事業の長期化と長期的ビジョンの不足
- 事業実施による、生物や生態系への影響

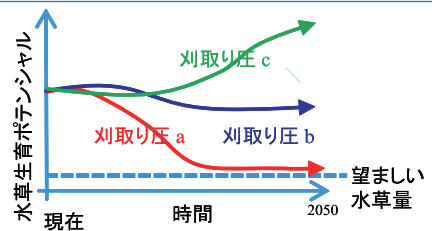
#### 【課題解決に向けた対応】

##### 1 水草と湖底泥間の物質収支の把握および将来予測

- 南湖底泥中の栄養塩量や水草の流出量の推定
- 水草消長モデルを用いた水草と湖底泥間の物質収支の把握
- 底泥中の栄養塩から見た水草生育ポテンシャルの予測

##### 2 水草刈取り・除去が生物・生態系に与えた影響の評価

- 各生物の生態特性に関する情報の収集
- 水草消長モデルを用いた水草刈取り効果の評価



湖沼の一部地域で繁茂している糸状藻類

- 底泥栄養塩から見た長期的な水草の生育を予測
- 水草除去による生態系への影響の検討と生物群集から見た水草除去効果の評価